

受講無料

申し込み
不要

2017年度 成蹊大学 後期公開講座

「統一テーマ」

ロシア

広大な領土と豊かな文化を持つロシアは、近年、再びその存在感を増大させています。ロシア革命から100年に当たる今年の後期の公開講座では、ロシアとはどういう国なのか、歴史と文化を主な素材としながら考察します。

第1回 10月7日

ロシア革命は
クーデタか革命か、スムータ(動乱)か
— 論争史を整理する —

トミタ タケシ
富田 武 本学名誉教授

ロシア革命ほど、評価が分かれた歴史的事件はありません。1世紀後の今日、評価の変遷と最新の研究を紹介しながらお話しします。日露関係の今後を考えるヒントも提供できればと思います。

第2回 10月14日

ロシアと第二次世界大戦の記憶

タテイシ ヨウコ
立石 洋子 法学部助教

ロシアにおいて第二次世界大戦の記憶は、社会を統合する重要な役割を持つとされています。この戦争の記憶がどのように形成され、変化してきたのかを考えます。

第3回 10月21日

花よりダンゴ、ダンゴより花?
ロシア文学における恋愛と料理の関係

ヌマ ノ キョウコ 東京外国語大学
沼野 恭子 総合国際学研究院教授

19世紀のロシア文学で、恋愛(花)と料理(ダンゴ)の描写にはどのような関係があるでしょうか。ゴーゴリ、トルゲネフ、トルストイ、ゴンチャロフの作品で考察します。

第4回 11月4日

国民楽派の実態
— 「ロシア・ファースト」を唱えざる
を得なかった彼らの事情 —

ヒトツヤナギ フミコ 東京藝術大学
一柳 富美子 音楽学部講師

「歌は世につれ世は歌につれ」と言われるように、音楽は世相を反映します。社会の動向に照らし合わせながら音楽を紹介し、19世紀ロシア国民楽派の面々が「ロシア・ファースト」を標榜した真相に迫ります。

SEIKAI 成蹊大学

東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 www.seikei.ac.jp/university/

お問い合わせ 成蹊大学庶務運営課 TEL: 0422-37-3535

| 日 時 | 土曜日・午前10時30分～12時10分

| 会 場 | 成蹊大学6号館401教室

| 定 員 | 300名(先着順)

| アクセス | 吉祥寺駅下車、北口バスのりば①・②番より関東バスで約5分
「成蹊学園前」下車

※講演は各回ごとに完結しますので、ご希望の回だけの受講もできます。